

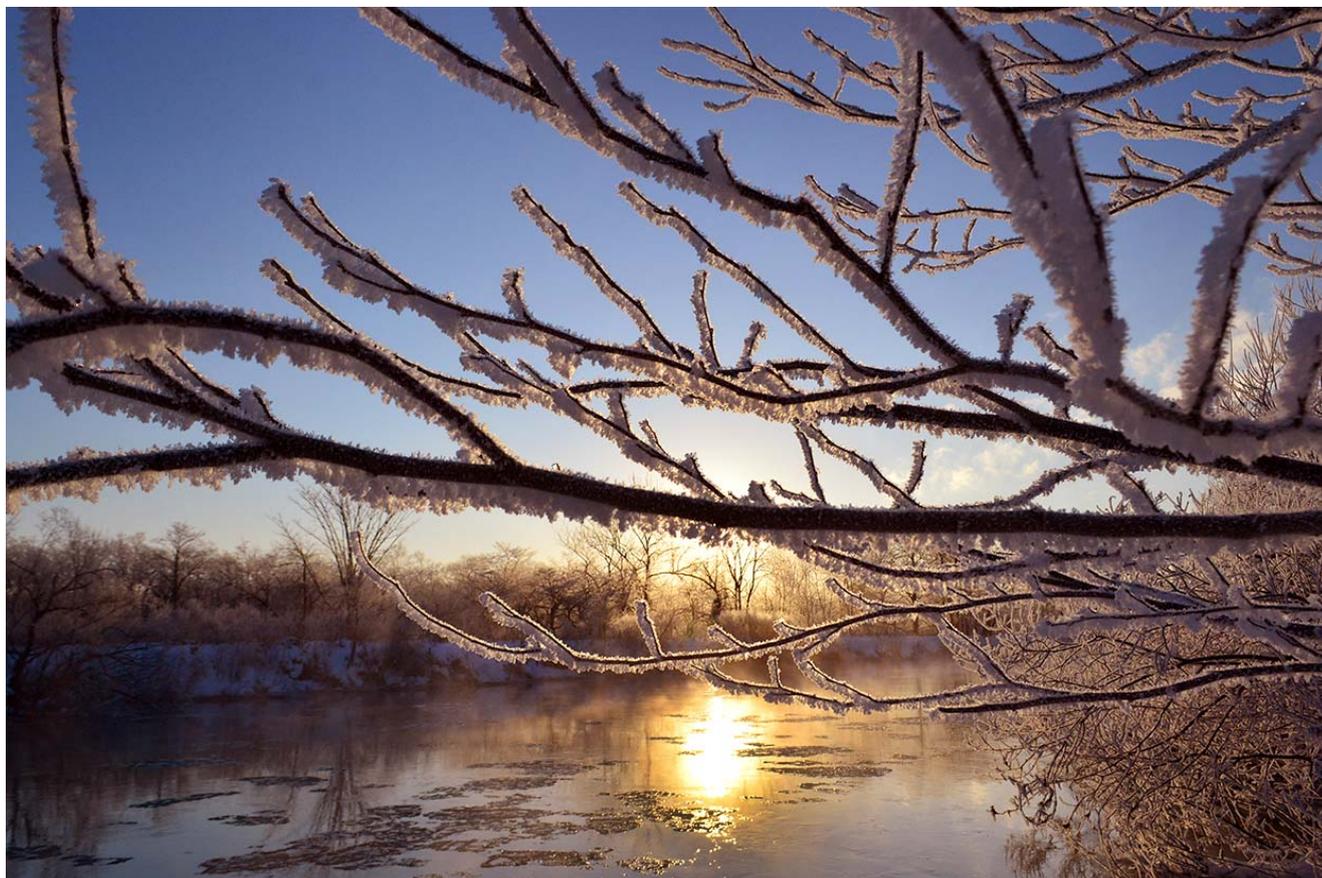
# 月刊 やちまなこ

2017.1.15 発行

No. 230

## 1 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

雪道をエゾシカたちが横切る。夜明けまではまだ時間のある湿原では、すでに動物たちが活動を始め、遠くの雪原ではキタキツネが彷徨うように歩いていた。新しい年を迎えた湿原は何も変わることのないいつもの景色が広がり、ゆっくりと流れる川面には、蓮氷がまるでワルツを踊るようにシャラシャラと音を立てながら川下へと消えてゆく。やがて東の空が明るくなるころには気温も一気に下がり、指先は細い紐で縛られた時のような痛さを感じる。傷みに耐えながら見る川沿いの林から太陽が顔を出した瞬間、赤く染まった樹氷が一斉に輝いた。

湧水などにより氷の薄い部分がありますので、  
散策には注意してください。

# 塘路湖



## 塘路フィールドノート【12/15～1/14】

センター周辺には塘路湖畔歩道やフィットンチッドの森などの散策道があります。他にサルボ、サルルン展望台やコッタ口湿原展望台などもありますので、湿原の景観や自然観察にはお勧めの場所となっています。



エゾユキウサギ



エゾシカ



キタキツネ



エゾリス



タンチョウ



ヤチネズミ

### ※ 雪のキャンバスで見つけた足跡

雪の上に動物たちの足跡が残されていました。種類によりその形も独特で、普段どのような行動をしているのか、キャンバスに残された足跡を見ながら、いろいろ推理してみるのも楽しいです。ただし、新雪が降ってしまえば、新たなキャンバスにこの他の動物の足跡が残されているかも知れません。

**【植物】** キハダの実を見つけました。まるで胡椒の実のようですが、その匂いは独特でした。湖へ向かう途中にカラコギカエデのタネがありましたが、ほかのタネは既に飛んでしまったようです。湖の氷の中にペカンペの実がありました。翼を広げた先端には鋭い刺があります。黒くなっているのですが、中身は空のようです。



カラコギカエデのタネ  
キハダの実

ペカンペの実

(その他) フッキソウ. ヤチハンノキの雄花と雌花. サワシバのタネ. エゾウコギの実. シナノキのタネ

**【野鳥】** 塘路湖上空や近くの木にオジロワシの姿を見かけることがあり、時折オオワシも飛んで来るようで、ワカサギ釣りのおこぼれを狙っているようです。また、ノスリの姿も見かけますが、とても警戒心が強くあまり接近すると逃げてしまいます。(その他) ヤマセミ. ヒヨドリ. オオハクチョウ. アカゲラ. コゲラ. ハシブトガラ. シジュウカラ. マガモ. カワアイサ. ワタリガラス. アオサギ. ダイサギ



オジロワシ

ノスリ

**【動物】** キタキツネ. エゾシカ. エゾリス. ヤチネズミ. エゾタヌキ. アメリカミンク

**【気象他】** 標茶町最低気温 -25.6℃ (13日). フロストフラワー. ダイヤモンドダスト. ワカサギ釣り解禁 (5日). S L冬の湿原号試運転 (12日)

つぼっちの塘路周辺うろうろ日記 Vol.96「はく製たちと共に新年おめでとうございます！」

あけましておめでとうございます。今年のお正月は、昨年8月の台風の上陸や12月の大雪が何だったのかと思うほど、穏やかに迎える事が出来ました。

さて現在郷土館では、町内を巡回する移動展準備の真っ最中です。今年のはく製にスポットを当て、普段郷土館に展示していない珍しいはく製を倉庫から出し、標茶町内公民館や図書館で展示予定です。

という訳で館内事務室は、様々なはく製が置かれ雑然としています。同種のはく製を数体並べるコーナーも作るのですが、実際にタヌキ4体のはく製を並べると思った以上に個体差がある事を確認。1月26日より標茶町開発センターで始まります。

ご挨拶と共に宣伝でした。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

坪岡 始 (標茶町郷土館学芸員)



## 新春の空に凧揚げて

7日、自然ふれあい行事「連凧を作って揚げよう」を開催、大人や子供を含め、9名が参加して、当日は日本の凧の会会員の菊地利長さんを講師に、今年の干支である酉のイラストや文字、アニメのキャラクターなどを凧に描き、竹ひごで骨組みをしたもの3枚を糸で繋げて完成させました。早速参加者は塘路湖へ行き凧を揚げると、手元の連凧はスルスルとまるで青空に吸い込まれるように揚がり、周囲から子供たちの歓声が聞こえてきました。手作りの凧がこんなに揚がるとは思わなかった。と傍にいた保護者のお父さんやお母さんも子供以上に喜びながら凧糸を握っていました。



凍結した塘路湖で凧を揚げる参加者

# 2月の自然ふれあい行事

各行事とも事前の申込が必要です。

## ◎冬の塘路湖畔散策

[日 時] 2月18日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 ・無料

[場所] 塘路湖エコミュージアムセンター周辺

※積雪状況により、スノーシューを使います(貸出無料)。

・申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで。

## ◎スノーシューで湿原ハイク

[日 時] 2月12日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 ・無料

・申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで Tel. 0154-65-2323(火曜休館)。

## <編集後記>

■冬の観光シーズンを迎えましたが、今年は年明けから氷点下20℃台を記録する日が続きました。道外から訪れた方には想像できない気温や寒さと思いますが、防寒対策をして観光を楽しんでください。

また、道路状態も圧雪やアイスバーンのとなり、エゾシカも横断することがありますので車の運転には注意してください。

■スノーシューの貸出(無料)をしています。塘路湖畔歩道、フィトンチッドの森コース限定での利用となります。(フィールドの状況によって貸出出来ない場合もあります。)

◆日出・日入時間 1/15(6:51, 16:13). 2/1(6:38, 16:35). 2/14(6:22, 16:52)



2017年 初日の出(塘路湖畔から)

---

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:[emc@hokkai.or.jp](mailto:emc@hokkai.or.jp)

開館時間 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料

---